

ゲーム、シミュレーションで 3D 都市モデルデータを活用する事例を紹介 「G 空間 EXPO2014」に出展

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山 善司、以下ゼンリン)は、2014 年 11 月 13 日(木)～11 月 15 日(土)まで、日本科学未来館(東京都江東区)で開催される「G 空間 EXPO 2014」に出展します。これまで、カーナビゲーション向けに独自フォーマットで整備してきた 3D 地図データを、3D・CG で汎用的に使えるフォーマットに変換し、3D 都市モデルデータとしてゲームやシミュレーションに活用できる事例をブースで紹介。地理空間情報の新たな活用方法を提案します。

■主な展示内容

・「オキュラス・リフト」を使ったデモゲーム

秋葉原の 3D 都市モデルデータを舞台にしたデモゲームをプレイできます。VR^(※1)に特化したヘッドマウントディスプレイ「オキュラス・リフト」を装着して、実際にゲームの世界にいるような没入感を体験していただけます。

・景観シミュレーション

景観シミュレーションとして 3D 都市モデルデータを活用する事例を映像で紹介します。



「オキュラス・リフト」の使用者と、見える映像(左上)のイメージ

・主催者ブースの MR^(※2) 技術体験イベントに参画

主催者ブース(企画展示ゾーン 31)で行われる MR 技術による 3D 体験コーナーに、お台場エリアの 3D 都市モデルデータを提供します。複数人が MR 端末を装着し、一緒にバーチャルのお台場の街に入り込んだような体験が可能です。

■「G 空間 EXPO 2014」の概要 <http://www.g-expo.jp/index.html>

名称	G 空間 EXPO2014	会期	2014 年 11 月 13 日(木)～15 日(土)
会場	日本科学未来館	主催	G 空間 EXPO2014 運営協議会
ゼンリンブース	地理空間情報フォーラム 企画展示ゾーン 28		

※1: VR=Virtual Reality。仮想現実。CG や音響効果を組み合わせて、人工的に体験可能な現実感をつくり出す技術。

※2: MR=Mixed Reality。複合現実感。現実映像と仮想映像をリアルタイムに違和感なく融合させる映像技術。

※: 記載されている社名、商品名は、各社の登録商標、または商標です。